

Template:日本の内閣総理大臣?

**松方正義**（**まつかた まさよし**、1835年3月23日（天保6年2月25日） - 1924年（大正13年）7月2日）は日本の**武士**・**薩摩藩士**、政治家。幼名は金次郎。通称は助左衛門。近代日本を代表する財政家であり、明治13年（1880年）に**内務卿**、明治14年（1881年）に**大蔵卿**を歴任、翌・明治15年（1882年）に**日本銀行**を設立。第4代、第6代**内閣総理大臣**。ほか**大蔵大臣**、**内大臣**などを歴任。**元老****従一位大勲位公爵**。

## 経歴

## 生い立ち

現在の**鹿児島県**に松方正恭、袈裟子の四男として生まれる。わずか13歳にして両親を亡くす。弘化4年（1847年）、薩摩の**武士**の子弟が通う藩校**造士館**に入る。

嘉永3年（1850年）、御勘定所出物問合方へ出仕し、**扶持米**4石を得る。この後、大番頭座書役となり、7年間勤めたが、この間幾度か藩主に拝謁する機会も得、精勤振りを認められ、褒賞として金130両を下賜された『絹と武士』 59頁。

**島津久光**の側近として**生麦事件**、**寺田屋事件**等に関係した。29歳の時、議政書掛という藩政立案組織の一員となった。低い身分から異例の出世を遂げた松方に対し称賛する者もいる反面、妬む者もいたという『絹と武士』 77頁。

慶応2年（1866年）、軍務局海軍方が設置され御船奉行添役と御軍艦掛に任命される。慶応3年（1867年）、軍賦役兼勤となり、長崎と鹿児島を往復して、軍艦の買い付けなどに当たった。

## 大蔵大臣時代

thumb|left|200px|[[大礼服|有爵者大礼服]姿の松方。頸飾は英国国王から送られた**聖マイケル・聖ジョージ勲章**。]]

維新政府では長崎裁判所参議に任じられ、**日田県知事**に転任する。日田で松方は大量の**太政官札**の偽札流通を発見して調査の末、**福岡藩**による藩ぐるみの偽札製造の事実を明らかにしたことで**大久保利通**の評価を得て、その推挙で民部大丞・租税権領に就任する。

以降は大蔵省官僚として財政畑を歩み、内務卿大久保の下では**地租改正**にあたる。だが、財政方針を巡って大蔵卿**大隈重信**と対立する。松方は大隈が進める**外債**による政府発行紙幣の整理に真っ向から反対したのである。その結果、**伊藤博文**の配慮によって内務卿に転出する形で大蔵省を去った。だが、明治14年（1881年）の**政変**によって大隈が退陣すると、**参議**兼大蔵卿として復帰する。松方は後に**松方財政**と呼ばれる政府発行紙幣の整理を中心とする金融政策の実現に取り組み、日本銀行の設立を経て、政府発行紙幣の全廃と**兌換紙幣**である日本銀行券の発行を行った。この政策によって財政収支は大幅に改善されたものの、深刻な**デフレーション**を招いたために「**松方デフレ**」と呼ばれて、世論の反感を買った。

明治24年（1891年）に**山縣有朋内閣**が倒れると総理大臣に任命された（**第1次松方内閣**）。しかし閣内の不一致や不安定な議会運営が続き、1年強で辞任に追い込まれた。その後**伊藤博文による内閣**を挟んで明治29年（1896年）に再び松方に組閣の大命が下るが、懸案であった**金本位制**への復帰こそ成し遂げたものの、**大隈重信**率いる**進歩党**との連繋がうまくいかず、同じく1年数か月で辞任を余儀なくされた。Template:Main?

## 評価

年齢、キャリアからすれば薩摩閥の中核となるべき人物であったが、財政面以外での政治手腕には欠けるところがあった（2度の内閣がともに閣内分裂が理由であっけなく倒れた）ために軽んじられており、それゆえ派閥をまとめることが出来なかったといわれる。

ただし、**明治天皇**からの信頼は絶大であり、松方財政においても、閣僚や元老の反対の中、天皇から財政委任の詔勅を得、財政をすすめている。**日露戦争**の開戦に当たっては、消極派の伊藤・**井上**らに反論し、積極的に開戦を主張。財政上の懸念は解決できると豪語し、元老会議を主導した。この功績が明治天皇から認められ、戦後異例の大勲位受章となった。伊藤・**山縣**らの死後は元老を主導する立場となり**加藤友三郎内閣**の成立などに貢献した。

## 家族 親族

- 妻 満佐子（**薩摩藩士** 川上助八郎長女） - 8男3女の子を産む
- 長男 **巖**（**実業家**、銀行家） - 妻は医学者**長與専齋**の娘、**長與稱吉**妹
- 次男 **正作**（**外交官**） - 妻は**三菱財閥**創始者**岩崎弥太郎**の弟で2代目総帥**岩崎弥之助**（元**日本銀行**総裁）の娘
- 三男 **幸次郎**（**実業家**） - 妻は**三田藩**最後の藩主**九鬼隆義**の娘
- 四男 **正雄**（**大阪タイガース**（**現阪神タイガース**）初代オーナー、1986年に**野球殿堂**入り）**殿堂一覧 | 財団法人野球体育博物館 殿堂者詳細情報 松方正雄**
- 五男 五郎
- 六男 虎雄
- 七男 乙彦 - 妻は**山本権兵衛****元首相**の娘



著者 - [ハル・松方・ライシャワー](#)、訳者 - 広中和歌子 『絹と武士』 [文藝春秋](#) 1987年

- 
- 『日本の名家・名門 人物系譜総覧』 新人物往来社 2003年 280-281頁

## 関連項目

---

- [岩崎家](#)
- [鹿児島県出身の人物一覧](#)
- [三国名勝図会](#)

## 脚註

---

## 外部リンク

---

[Template:commons?](#)

- [松方正義 | 近代日本人の肖像](#)
- [明治宰相列伝：松方正義 | 国立公文書館](#)
- [松方家文書（松方正義）（MF：財務総合政策研究所財政史室蔵） | 国立国会図書館](#)
- [近現代・系図ワールド](#)
- [歴代総理の写真と経歴 第4・6代 首相官邸サイト](#)

出典: フリー百科事典『[ウィキペディア \(Wikipedia\)](#)』\_2008年11月24日 (月) 13:30\_

